

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第8時(9時間取り扱い)

どんなひし形も同じ考え方で
求積できることがわかる!

本時の授業の概要

既習の求積方法をもとにひし形の面積を求める発展学習である。ひし形の面積を求める考え方を公式にまとめ、面積を求められるようになるとともに、面積の学習をより深める。

本時の目標

ひし形の面積の求め方を考え、公式を作ることができる。

活用場面

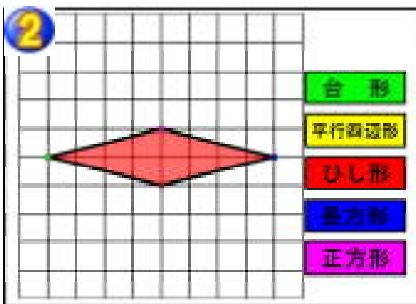
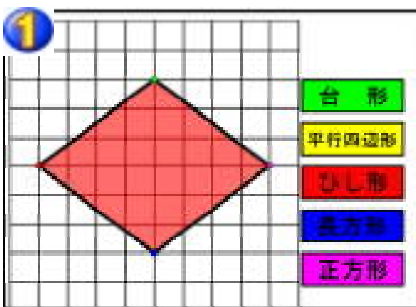
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



別のひし形でも本時で考えた面積の求め方が使えるか考える。

① T : ひし形の面積は、どんな公式で求めることができましたか。

C : 対角線 × 対角線 ÷ 2

T : 他のひし形でもこの公式が使えるのか考えてみましょう。

いろいろなひし形を提示し、別のひし形でも公式を使って面積を求められることに気づく。

② T : (対角線の長さを変え、いろいろなひし形を提示しながら) このひし形でも公式を使って面積を求めることができますか

C : 前のひし形と同じ考え方で面積を求めることができます。

C : どんなひし形でも、まわりを囲む長方形の面積の半分になるのだから、公式が使える。

C : 他の方法の考えでもできるから、公式が使える。

T : ひし形の公式はどんなひし形でも使えますね。

【ワンポイントアドバイス】

別のひし形を提示することにより、どんなひし形でも公式を使って求められることをおさえる。あわせて、対角線の位置関係の定着も図りたい。

【サイト情報】

<http://www.mowmowmow.com/math/flash/s5/iroiro41.html>
「Mow Mow Mowの部屋」